

## 4時から夢塾 「外国語科の授業づくりのヒント」

第14回「4時から夢塾」(示範授業)を10月8日(木)、新潟大学附属長岡小学校の山口和之先生から、見附小の6年:外国語の授業で、指導を頂いた。

### 1 単元名「スペシャルな休日を紹介するよ」 〈授業の流れ〉

- ◎ I watched～. / I bought～. の表現を使って、自分の休日を紹介しよう。
- ・T1 自己紹介で、聞こえてきた順番にカードを並べましょう。どんな英語が聞こえましたか。
- ・T2 I watched～. / I bought～. の表現の練習をしよう。
- ・T3 今までに習った表現を用いて、自分の休日を友達に紹介しよう。



### 2 ミニ講座 「外国語科の授業づくりのヒント」

#### (1) 外国語を介して、『コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力』を育成する外国語科

- ・決められたフレーズは言えるが、自分の本当の気持ちが言えない。ゲームでは楽しく活動できても、自己表現ができない。そこに、子どもの願いや思いは本当にあるのか。

#### (2) 外国語科における資質・能力を育む授業とは？

- ・『選択』=『自己決定(自己表現)』がある授業⇒「自分はどんなことが伝えたいのだ」をもつ。

#### (3) 単なる「外国語への慣れ親しみ」からの脱却⇒「目的意識」「相手意識」をもった外国語の学びへ

- ・何を目的に、この英語表現を学ぶのか。どんな状況・場面で、学んだ英語表現を使用するのか。
- ・子どもの願いや思いが中心にある授業づくり(みんなは、最後にどんなことをしていきたいの?)

#### (4) 外国語科特有の知識・技能の定着

- ・Output(思考・判断・表現)のために、必ずInput(知識・技能)が必要。・Inputの量と質が、Outputを下支えする。外国語科におけるOutputは、他教科領域に比べ、一見して幼稚に見えてしまう。

#### (5) バックワードデザインによる単元構成の工夫

- ・子どもたちにとって魅力的な最終タスクを設定する。二回に一回はスモールトークを入れる。

#### (6) 学習評価・「記録に残す評価」は毎時間行うわけではない。記録に残すのは単元の終わりにする。

#### (7) 資質・能力を育む授業づくりのために(まとめとして)

- ・子どもの願いや思いを実現する単元構成をする。
- ・相手意識や目的意識をもてる最終タスクの設定をする。
- ・既有表現と新出表現を、常に授業の中で提示していく。
- ・自己決定(自己表現)の場を設定する。



#### <参加者の声>

- ・細かなテクニックや子どもとの向き合い方、授業づくりについて学んだ。選択や自己表現の大切さ、やり方について学んだので早速、取り組みたい。
- ・単元のゴールを設定し、目的意識を持って学びを習得することの大切さを学んだ。
- ・英語を楽しく学んだり、使ったりする本物の授業を見て、より理解が深まった。
- ・少しずつ話せるようになるための話し方や掲示物画面の提示の仕方が、勉強になった。
- ・身近な手作り教材が、「話したい」や「自分も話せるかも」の気持ちを持たせられることが分かった。
- ・授業の流れや様々なアクティビティの盛り込み方、単語の発音のさせ方、学びの多い45分だった。
- ・単元の最後のゴールからワードを持ってくる単元構成の大切さが分かり、今後の授業に生かしたい。

